第1回二セコ町総合計画見直し検討委員会における指摘事項と対応方針(案)

1. 会議において発言いただいた事項

	指摘事項	対応方針
1	(坪井委員)	
	・アンケート調査結果に基づく論点は、地	〇地域差が特に顕著な点を重視し作成した資
	区別の特徴を課題としているが、全町的な	料であり、全町的課題を無視するものではな
	評価低下は派生課題とはならないか。	い。全町的課題を解決するためには、地区ご
		との状況把握がその基礎的現状分析と課題認
		識を構成するので、重要と考えている。
2	(斉藤委員)	
	・総合計画の庁内評価結果は、どの段階ま	〇庁内担当者によるローリング(時点修正)
	で行われているか。今後出てくるのか。	により、実施状況及び評価を行い取りまとめ
		ている。次回委員会時に、本文に組み込んで
		お知らせする。
		(資料 3-1 実施状況一覧表参照)

<自治創生総合戦略の内容を基本計画 11「住民みんながまちづくりを考え、活動します」に 位置付けることについて>

	指摘事項	対応方針
3	(牧野委員)	
	・総合戦略の内容を基本計画 11 の中に含め	〇委員会で、方向性を確認し了解してもらえれ
	る場合、具体的にはどうような表現になる	ば、次回委員会時に具体的な表現を出したい。
	か?	(資料 3-2 P29 概要図を修正)
4	(斉藤委員)	
	・総合戦略の事業内容は、総合計画基本計画	○総合戦略の施策は、総合計画の戦略推進プラ
	の 1~11 に横断的にかかるということだ	ンに組み込み併記する形で整理する。
	が、どうまとめるのか?	<u>(資料 3-2 P44-45)</u>

<総合計画見直しについての意見>

	指摘事項	対応方針
5	(牧野委員)	
	・アンケート考察で、商工業部分の記述で	〇アンケート考察は、担当管理職に再度確認
	担当課長よりニュアンスが異なるとの意見	し対応する。
	を聞いている。	(資料 3-2 P165 修正)
	• 商工会では経営発達支援計画を策定し中	○総合計画の戦略推進プラン7−①の関連す
	小企業庁から認定を受けている。ニセコ町	る事業として「経営発達支援計画」を位置付
	にあう小規模事業者への支援等の視点から	け、施策展開を図るよう連絡を密に進めてい
	総合計画にも盛り込みつつ、連携しながら	く。 (資料 3-2 P64 追記)

施策展開を進めたい。

6 (牧野委員)

・南西地区は、従来から蘭越町(昆布)と つながりが強いので、その意識が反映して いるのではないか。また、各地区共に移住 が多くなっている現在、地区単位で評価す る考えは必要ないのではないか?

(斉藤委員)

- ・地区別の分析がしっくり来ない。何処の 地区でも、同じ状況なのではないか。
- ・満足度の変化・推移に関して、デマンドバスに不満がある。実際に、申し込んでも断られる人の割合が、南西地区で多いのか等データによりはっきりさせるべき。

〇総合計画では地区ごとの課題を洗い出し、 地区の方向性を「地区ビジョン(地区別構想)」 としてまとめている。

アンケートによる評価結果を課題と受け止め、解決に向け地区に限らず全町的に対応すべきものもあるという視点を持って取り組むが、全町的に対応するためにも、地区別の評価実態の把握や、解決に向けた住民ニーズを、地域特性も含めて把握することは、非常に重要と考えている。

〇デマンドバスは、ご指摘のとおりの問題が 顕著に見えてきたので、その課題の状況は原 因を具体的に把握し、解決策について根本的 に検討を深め、課題解決に向け対応していく。 (資料 3-2 P52)

7 (斉藤委員)

・「第 1 次見直しアンケート調査の集計表の差異」は%でなくポイント表記にすべき。

○ご指摘のとおり、修正する。

(資料 3-2 P141 修正)

8 (平島委員):

- ・高齢化・独居が増加し、見守りに対する 不安は全町的な傾向。高齢者の問題を全町 的な視点で捉え、サービス面や交通の面(福 祉輸送やデマンドバス等)など安心して暮 らせる支援体制を考える必要がある。
- ・介護保険法の見直しなどあり、地区別だけでは対応できない課題、障害者差別解消法により商店や観光など多方面にも関連してくる観点も出てきている。

○ご指摘いただいた点は、全町的な施策展開が必要な部分であるが、課題の発現状況が地区によって異なっていることの背景を分析するなどによって、より、原因に対する有効な解決策を見出すことが可能と考えている。

今回アンケート結果で、地区別に、健康・医療、高齢者福祉の評価を把握したことによって、問題の構造が、主要課題、派生課題として見えてきたことから、これらに関係する各課で連携してプランを進める。

9 (竹石委員)

・近藤地区コミュニティ活性化の要因は、 学校の存在だけでなく、面白く関わっているキーマンの存在も大きい。今後もキーマン育成が必要だが、その方策はないか。引き継ぎの仕組みは、組織立てされておらず脆い部分がある。

・東京ニセコ会の存続に向けた、次の世代の後継者育成も必要。

〇戦略推進プラン 18-③、18-④で、住民自治を支える担い手確保を進めることとしており、フォローしていく。

(資料 3-2 P92)

10 (竹石委員)

・再生エネルギーについて、町としてどの 程度必要で、どの程度対応できそうか、そ の将来像を描けているか。 〇再生可能エネルギーの二セコ町における資源量や利用可能量などについては、過去の調査で算出されており、その結果に基づき環境モデル都市構想において、再生可能エネルギーの開発利用に基づくCO2削減目標を掲げ、その実現に向けた政策を掲げている。

11 (鈴木委員)

・東京二セコ会への支援や倉庫群イベント等でボランティア(無償)だけでは継続性の観点から、限界が生じるのではないか。 事業継続できるよう何らかのお金が回る仕組みが必要ではないか。 ○施策推進にあたり、自立性の確保を目指す 視点はご指摘のとおり。

自治創生からの視点でも、継続・発展を目指 す取組みが求められている。

一方で、総合計画の施策には、公共が実施すべき施策も含んでいることから、個別事業ごとに検討を進めていく。

12 (日野浦委員)

・学校間連携、幼小中高一貫教育の準備を 進めている。また、地域と連携するコミュ ニティスクールに、住民のボランティア参 画の可能性を探っている。

ニセコ町には、すぐれた人材が多くいる。ネットワークづくりが大切ではないか。

〇ネットワークづくりについては、ご指摘の とおりであり、9-①、9-②として掲げてい る。

(資料 3-2 P71)

13 (竹石委員)

・コミュニティ助成金などの地域で活用できる制度情報が、地域住民まで伝わっていない。一元的な窓口など、提供システムがあれば良い。

〇町内会長に向けお知らせしている情報もあるが、住民活動に有益な情報伝達の仕組みを検討したい。また、具体的に戦略推進プラン18-②で情報発信の一元的な窓口の設置についても取組んでいく。

(資料 3-2 P91 追記)

14 (上野委員)

・子育てしやすいまちだが、幼児センターと子育て支援センターの役割を、もっと充実させる必要がある。週末に働くお母さんは、週末の預かりを希望している(場所は幼児センターとは限らない)。

産前産後のケアの仕組みや、送迎バス、子 育てヘルパー、病児保育もあると良い。 〇子育て環境の充実は、雇用の確保、人口維持に向け必要。戦略推進プラン 15-④で、関係機関の連携、子育て支援の担い手確保として、今後検討を進める。

(資料 3-2 P84)

15 (安岡委員)

アンケートでは、商工業の評価が低いが、 ニセコ町民は、必要なものが町内で揃わないと決めつけているのではないか。 綺羅街 道の商店街はほぼ壊滅状態に近いので、対 策のアイデアが欲しい。

・青年部では、花火大会を30年程前から 開催している。子どもたちに夏の思い出を 作る狙いだが、大人になって二セコに戻っ て来てほしいという狙いもある。 〇二セコ町内の創業率は全国でも高い状況であり、町創業支援補助金の活用も多い。域内 消費拡大に向け、商工会で策定している経営 発達支援計画等の支援をしていく。

(資料 3-2 P64 追記)

16 (佐々木眞理委員)

福井県鯖江町では、高校生の社会活動参加が進んでいると聞く。高校生を活用する視点も大切ではないか

○ご指摘のとおり。なお、二セコ高校では平成27年度農業クラブ活動で観光ツアーを行うなど、社会課題に対する活動を行っている。

17 (坪井委員)

・在来線函館線の存続は、生活面だけでなく観光面でも重要。周遊できる交通機関の 観光資源として、総合計画に盛り込めない か。 〇並行在来線は、北海道や近隣自治体との協議会で検討している。車両老朽化による減便 も見込まれているが、国内外からの観光客増加、北海道新幹線による道南からの流入等を 見込み、観光列車の走行等要望していく。

(資料 3-2 P53、P67)

18 (佐々木淳委員)

- ・保育園の保育体制に不満。町立だけでなく、民間の保育園も必要。
- ・農地保全への不安が減っていると言うが、 外資による農地関連の取引実態があり不安 がある。
- ・親交会に加入しない人がいる。コミュニティが縮小している。住宅を道路除雪の影響を受けそうな場所に建設しないようにするなど条例で規定できないか。

○戦略推進プラン 15-④で関係機関の連携、 幼児センターの増改築等の実施について記載。

<u>(資料 3-2 P84)</u>

〇アンケートから川北地区では従来のコミュニティの高齢化と新しいコミュニティの混住が課題となっている。課題解決に向け地区での話し合いや背景分析等を進めていく。

2. 後日届けられたご意見

Z . 2	を口曲り りんに こ 息兄 **と ☆ 車店	动脉与针
4.0	指摘事項	対応方針
19	(竹石委員コメント) ・近藤小学校は地域と一体化していることが上手く行っている要因。ただし、外的要因が発生した場合の問題処理について対応できるのか疑問。	〇ご意見としていただく。なお、戦略推進プラン「9-②学校における子供の教育を地域全体が支え推し進める」等により、施策展開を図る。 (資料 3-2 P71)
20	(竹石委員コメント) ・社会教育についてはうまくいっていると思うが、移住者としてみたときにあまりに純粋で、都会に出た際にギャップに悩むのではないか?と心配してしまう。	〇ご意見としていただく。なお、自治創生総合戦略の検討時にも、ニセコ町への誇りや愛着を持つ人材の育成の議論があったところ。戦略推進プラン「10社会教育、11歴史文化」で、ニセコ町にふさわしい環境教育、環境学習や歴史文化等を学ぶ機会の創設、地域の人材や資源を結びつけた展開を図ることとしている。 (資料 3-2 P73~75)
21	(竹石委員コメント) ・ニセコ高校を特色ある(おといねっぷ美術工芸高等学校(工芸科)のように)ものにして、全道、全国から集まってくるような形になるといいと思う。 海外のリゾートへの近道とか国際派の育成に授業を全部英語で行うなど。	〇ご意見としていただく。なお、戦略推進プラン「9-③国際化・情報化に対応できる幼児教育・学校教育・生涯教育を進める」などのなかで対応する。 (資料 3-2 P72)
22	(竹石委員コメント) ・文化施設は、町民センターや有島記念館だけではない。利用促進は結構だが、あくまでも手段であって目的ではない。	〇ご指摘のとおり。戦略推進プラン「10-① 子供から大人まで、住民が地域の中で生涯に わたって学べる仕組みをつくる」は、そのよ うな精神に基づき組み立てている。 <u>(資料 3-2 P73)</u>
23	(竹石委員コメント) ・環境保全、土地利用に関しては、現状はうまくいっていると思う。	○戦略推進プラン「1-① 準都市計画により 良好な自然景観を守り育てる」「1-② 土地 利用に関する全体構想を描く」などのなかで 対応する。(資料3-2 P46)
24	(竹石委員コメント) ・ニセコブランドを安売りする必要はない。 現在のリゾート地区は混雑しすぎているのではないか。混雑を緩和しお金持ちが優雅に遊ぶくらいの所の方がいい。お金持ちが	〇ご意見としていただき、戦略推進プランの 観光の部分で対応する。

	去った後に、あまりいい層のお客しか残ら	
	なかったら悲劇だ。	
25	(竹石委員コメント)	
	・再生可能エネルギーの導入を目的化しな	○ご指摘のとおり、再生可能エネルギーの導
	いで、エネルギー出費の町外へのキャッシ	入により町外への資金流出を防ぎ、域内経済
	ュアウトをセーブするという事を指数化し	循環を進めることとしている。具体的には戦
	てはどうか?	略推進プラン「5-③ 環境モデル都市アクシ
		ョンプランに基づく省エネルギーの促進」の
		中で対応していく方向性にある。
		<u>(資料3-2 P56)</u>
26	(竹石委員コメント)	
	空き家バンク等の動きはあるようだが、	〇戦略推進プラン「4-② 民間住宅の建設を
	行政(NPO?NGO?)などで、小さくても	促進し住宅不足を解消する」にて、後志総合
	うまくいっているという成功体験を持って	振興局が実施している、しりべし空き家BA
	もらう事で所有者や近隣住民の不安?を解	NKと連携し対応する。
	消できるのではないか?	<u>(資料3-2 P51)</u>
27	(竹石委員コメント)	
	・デマンドバスは使いたい時間帯(夜間)	〇生活基盤に関する戦略推進プランの中で、
	は動いていないので使いたいという気持ち	デマンドバスの利用向上策の展開、住民生活
	にならない。	実態にあった交通体系の検討を進めていく。
	・何でも便利に使ってしまう様だが、特区	<u>(資料3-2 P52)</u>
	でライドシェア等を拡充できないものだろ	
	うか?タクシーなどの民業圧迫とかも問題	
	になってしまうのだろうか?	
	• JR維持に対しお金を掛けるなら、別の	
	交通手段に当てる(買い物や通学シャトル	
	など)ほうが効率がいいのではないか?	
28	(竹石委員コメント)	
	地域防災について、ニセコは災害がほと	〇地域防災に関しては、原子力防災への関心
	んどない。町としてお金の掛ける順番、プ	の高まりもある。町としての施策優先度につ
	ライオリティーは下げるべきかと思う。	いては、様々な議論があると想定されるので、
		一層の住民意向の把握や議論が必要と考えら
		れる。
29	(竹石委員コメント)	
	・今は健康なので実感がないが、健康寿命	〇ご指摘のとおり。なお、これまでも健康教
	を延ばすという事に関しては検診と定期的	室や各種検診による施策展開を進めており、
	な運動に重点を置いてほしい。	さらに予防の観点を重視した施策に取り組む
	医者にかかるという事を前提にするのでは	(<u>資料3-2 P77</u>)。
	なく医者に掛からないことを目標に。	

30	(竹石委員コメント)	
	・高齢者福祉というと、社会から切り離し	○ご指摘のとおり、高齢者世代の地域参加が
	てしまうような印象を受けるが、最後まで	重要と考えている。戦略推進プラン「14-①
	社会の中で生活できるような仕組みが有れ	高齢者の社会参加の仕組みを作る」「14-④高
	ばいいのですが、解は有りませんね。	齢者との心の交流を図る見守りネットワーク
		を作り参加する」などで対応する。
04	<i>(サナ</i> キョランスル)	<u>(資料3-2 P80)</u>
31	(竹石委員コメント) ・観光開発に関して、町づくりの重要な柱	 〇町民アンケート結果からも準都市計画区域
	・ 観元開光に関して、町 ラくりの重要な住 として、無秩序な開発に繋がるような事が	○町氏アフケート記来がらも準節で計画と域 への危機感が課題となっている。戦略推進プ
	こして、無依序な開光に繋がるような事が ないよう十分に監視してほしい。	への心機感が誘題となっている。戦略推進ノ ラン「1-①準都市計画により良好な自然景観
	ないより「力に重視してはしい。	フノート ①季節は計画により良好な自然京観 を守り育てる 「1-②土地利用に関する全体
		そうり育くる」・「 ②土地が用に関する主体 構想を描く」などで対応する。
		情感を描く」などで対応する。 (資料3-2 P46)
32		
	・観光客層の棲み分けというかゾーニング	 ○戦略推進プラン「8-③各国・各地域に合わ
	は必要。あこがれの地としてのニセコを確	せてニセコ町の紹介の仕方を変える」などで
	立して欲しい。	対応する。(資料3-2 P68)
33	(竹石委員コメント)	
	・農地保全よりも農業を主体的にやる人を	 ○担い手確保については、戦略推進プラン「6
	育てるというか、確保する事が第1優先で	 -⑥地域ぐるみで農業の担い手を確保し育て
	はないでしょうか?	る」などの中で対応。その他生産基盤の整備
		や生産性の高い農業経営等、複合的に施策展
		開を図る。 <u>(資料3-2 P59)</u>
34	(竹石委員コメント)	
	• なぜ、農業を継がないか?新規就農が活	〇後継者確保については、戦略推進プラン「6
	発にならないか?問題はいろいろあるでし	-⑤共同経営体や農作業の受託をする組織を
	ょうが、解決する手段として大規模農業法	つくり育てる」などで対応する。
	人化しかないと思います。	<u>(資料3-2 P58)</u>
35	(竹石委員コメント)	
	・商工業を活発にすることに異論はないが、	〇戦略推進プラン「7-⑤地域内経済構造の変
	どういった形がいいか。実情に有った形で	化に応じた商業活性化」などで対応する。
	の開発が必要	<u>(資料3-2 P66)</u>
36	(竹石委員コメント)	
	・ビュープラザは明らかに手狭。早いうち	〇戦略推進プラン「7-③時代に合わせた道の いっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ
	に手を打ちましょう。集客は見込めますの	駅ニセコビュープラザのあり方を検討し、つ
	で飲食を充実させましょう。	くり出す」などで対応する。 <u>(資料3-2 P</u>
37	(竹石委員コメント)	<u>65)</u>
31	(二人へに以及びに)	

・情報共有は、そもそも何の情報が共有されていないのか?

ネットに繋がっていない人に情報格差が発生してしまうのは当然では?しかし、放ってしまう訳にも行かないので難しい問題ですね。

情報共有は目的なのか、手段なのか?という本質的なことからいえば、手段なので、 目的をあくまでも優先すべきでは? 〇情報共有の手法や質については、広報広聴検討委員会等でも議論されている。戦略推進プラン「18-②まちづくり基本条例に基づき、情報共有の仕組を強化する」などで対応する。 (資料3-2 P91)

38 (竹石委員コメント)

・行財政に関して、アンケートでの辛口の評価はある意味叱咤激励として捉えては? 1町民としてはロングスパンで結果オーライになるように見守っています。 〇財政運営への評価については、情報公開に より状況が見え結果として低い評価につなが っている部分もある。一方で、漠然とした不 安感もあることから、今後とも分かりやすい 情報提供に努め、議論を深めていく。

39 (佐々木眞理委員コメント)

・基本計画「4 ニセコならではの環境と 調和した農業をつくります」に、安心・安 全な農業を目指すという意味合いの文言が 必要ではないでしょうか。 ○ご指摘いただいた点について、以下のとお り対応する。

(資料3-2 P168「論点26」)

①総合計画全体像の「ニセコ戦略ビジョン~ 基本計画 4ニセコならではの環境と調和した農業をつくります」説明文に「環境に配慮した農産物のブランド化を図り」を追記。

(資料3-2 P29追記)

- ②戦略推進プラン「(6) 農林業 6-⑦、6-
- ⑪」に環境保全型農業に関する事業を追記。

(資料3-2 P59~61追記)

40 (佐々木眞理委員コメント)

・1 1本の柱で構成されている基本計画を、 スリムにすることを希望する。 ○ 第5次二セコ町総合計画は、これまでの 町計画とは異なる、さらに他市町村にはあま り例を見ない、大きな特徴を有しています。

それは、教育、産業、福祉などのような役場内の担当部署ごとに体系化する計画項目の仕組みを基本としながらも(「戦略推進プラン」)、各施策の実施にあっては、関係する部署が、横断的・複合的に連携して取組もうという、大きな戦略を導入した点です。

課題が複雑化している中で、担当部署が単独で施策推進していくだけでは、目的達成と

はならない現状を踏まえ、戦略を立てて取り組んでいます。

この戦略の理念を、具体的に表現したのが、 11本の「ニセコ戦略ビジョン〜基本計画(P 29)」です。

戦略ビジョンは、内容的には一部重複しながらも、別々の大きな項目になっていますので、項目自体では重複していません。

11 本の項目をスリム化して本数を減らしても、かえって複雑になって、わかりにくくなると思います。

なお、各項目の課題と複合的に解決するための政策の関係性については「3-4 戦略ビジョンを実現するためのシナリオ(P34~)」に整理し記載しています。

今回の第1次見直しにおいても、この基本 構造は踏襲していきますので、ご理解いただ きたいと思います。